

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.108
令和4年9月28日(水)
文責：校長 大槻浩二

GIGA スクール構想への取組

将来の変化を予測することが困難な時代を迎え、日本の教育が大きく変わろうとしています。その一つが、一人1台端末を活用した「GIGA スクール構想」です。



すでに本校では、授業や家庭学習、感染症対策等、幅広く活用していますが、GIGA スクール構想のねらいと本校の取組状況をあらためて紹介します。



新しい時代を生きる子供たちのために、今後どのような授業が行われるのか分かりやすく解説します。

Q 「GIGA スクール構想」って何？

A 授業でタブレット等の機器を活用する教育改革です。

文部科学省は、デジタル機器（電子黒板・タブレット PC 等の ICT 機器）を使った授業を「令和の学び」の標準的な姿として示しました。理由として、日本の教育は ICT の環境の整備が遅れていることで、授業でのデジタル機器の活用も世界的に最下位であることが挙げられます。これからの授業においては、学力をつけることと併せて、「情報を活用する力」を育成することが極めて重要であり、それを実現する理念が GIGA スクール構想です。

文部科学大臣

メッセージ



Q 授業は、どう変わるの？

A 学びの Tool (道具) として活用します。

チョークと黒板だけで教師が一方向的に教える授業だけではなく、子どもたちそれぞれが、あらゆる教科で、タブレット PC などの ICT 機器を必要に応じて、効果的に活用しながら学びを深めます。様々な情報を集めて読み取ったり、分かったことや考えたことをもとに話し合ったりすることで、自ら問題を解決する力を身につけます。機器を使いこなすことが目的でなく、学習のよりよいツールとして子ども自らが学習道具の一つとして選択して活用します。

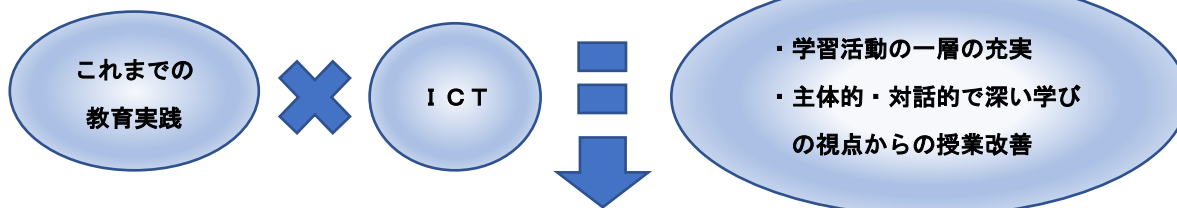
文部科学省

プロモーション動画



本校の取組状況

【第四小学校GIGAスクール構想のテーマ】



「Wi-Fi よりも繋がり，GIGA の話題が飛び交う職員室」

(R3) ～ドラえもん的発想「あんなこといいな～，できたらいいな～」の共有～

(R4) ～効果的な授業実践及び家庭学習による学力向上を目指して～



本校では、学校全体で取り組むために担当者を中心にテーマを決めて取り組んできました。また、職員間での研修を行いながら、お互いに活用方法を学びあってきました。現在、取り組んでいることを紹介します。



1 授業実践

これまでも活用されてきたインターネット等の検索による「調べ学習」の他、新たな学習としてタブレット上の仮想模造紙に共同で作品を作り上げる「共同学習」の他、学習したことを絵や写真、図を使ってプレゼンテーションを作るなど、これまで以上に活用の工夫が広がっています。

2 オンライン・ハイブリッド学習

感染症対策として自宅待機や学級閉鎖時の学びの保障として自宅にしながら教室と同時進行で授業を受けることができます。1学期までの実績は表のとおり。

ハイブリッド学習 (リアルタイム配信授業)	40人, 延べ130日
オンライン学習 (学級閉鎖等における遠隔授業)	5日, 延べ139人
オンライン集会	25回



3 家庭学習での活用

今年度の重点テーマは、家庭学習を学力向上に結び付けることです。次の3点に取り組んでいます。いずれも担任が意図的に課題をタブレットに配信しています。

① 単元に入る前の前学年までの復習

前学年までの同領域の学習内容の復習。タブレットドリルを活用。

② 解説動画視聴による反転学習

授業の解説動画を事前に視聴して、予習を行う。

③ 習熟に向けた復習

学習した内容に応じた復習を行う。

④ 自主学習の充実

本校が導入している電子版の「子ども新聞」を読み、自主学習にまとめる。



4 その他

- ・保護者への通知文のペーパーレス化
- ・健康観察の電子化
- ・学校評価や保護者アンケートの電子化
- ・授業や生活目標の振り返りの電子化

先進的に進んでいる背景にご家庭の環境とルール指導にあります。学校も家庭も「させっぱなし」にならぬよう意図的・計画的に活用して参ります。